

NEXTグローバル拠点都市選定!

北陸地域発 グローバルスタートアップ創出に向けて

2025

9.22^{Mon} 13:30
18:00

会場

Tokyo Innovation Base 2階
[東京都千代田区丸の内3-8-3]

イベント構成

※内容は変更の可能性もありますのでご了承くださいませ。

- | | |
|--------------------|---|
| プログラム① 基調講演 | NEXTグローバル拠点都市の意義と役割 |
| プログラム② パネルディスカッション | HOSTEC(北陸スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム)の始動に向けて |
| プログラム③ パネルディスカッション | グローバル市場に挑むための戦略と支援体制 |
| プログラム④ パネルディスカッション | 北陸発テックイノベーションの可能性 |
| プログラム⑤ パネルディスカッション | 拠点都市PFと地域PFの連携強化に向けて |

TeSH(北陸のアカデミア)と富山県、石川県、福井県が連携し、北陸地域の強みを活かしたグローバル・スタートアップ創出にむけ、支援ネットワークの構築を目指す共創イベントです。

イベント申込フォーム

※お問い合わせ情報についてもこちらから



Event Gallery



TeSH公式SNS



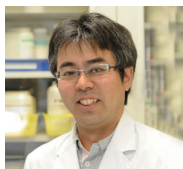
X(@TeSH_2024) / Facebook(@2024TeSH) / note(@tesh2024)

登壇者情報 | プログラム③ パネルディスカッション グローバル市場に挑むための戦略と支援体制

パネリスト

福井大学 学術研究院
工学系部門 教授

沖昌也氏



福井県出身。九州大学大学院医学系研究科で博士号を取得後、米国立衛生研究所(NIH)に留学。長崎大学医学部助手、理化学研究所研究員を経て、2006年から福井大学工学部に准教授として着任。2009年から3年間JSTさきがけの研究員を兼任し、2018年から福井大学大学院工学研究科教授に就任し、現在に至る。同2018年から福井大学ライフセンターイノベーションセンター副センター長、2023年からは日本学術会議連携会員を兼任。専門は分子生物学。現在、2年後のスタートアップを目指し奮闘中。

パネリスト

公立小松大学 保健医療学部
臨床工学科 教授

橋本泰成氏

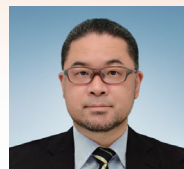


慶應義塾大学大学院 博士(工学)。電気・電子計測、脳・機械インターフェース(BMI)、リハビリテーション工学を専門とし、特に脳波を用いたリハビリ支援技術の開発に従事。これまで北見工業大学で11年間、准教授として計測工学、神経工学の教育研究に携わり、現在は公立小松大学においてBMI技術を活用した下肢リハビリ支援システムの研究開発を推進している。近年はTeSHスタートアップ・エコシステム共創プログラム(GAPファンドStep1)等の支援を受け、非侵襲型脳波計測デバイスや電気刺激装置の実用化を目指した研究に取り組む。産学連携や地域医療機関との共同研究も積極的に進めている。

パネリスト

金沢医科大学 総合医学研究所
共同利用センター 准教授

西園啓文氏



博士(医学)。熊本大学理学部、山形大学大学院理工学研究科でゲノム工学・生殖工学を学んだのち、富山大学、Max Planck Florida Institute for Neuroscienceを経て、現職。現在は自身の研究室を主宰し、ゲノム工学を駆使したデザイナー細胞、生体模倣素材などを応用した「生体を超越する人工生殖デバイスの開発」を目指し、研究を行っている。また、ウシ・ヒト用精子活性化装置など、研究成果を活用した畜産向け、あるいはヒト生殖補助医療・Femtech領域での機器開発スタートアップの立ち上げも行っている。

パネリスト

金沢大学附属病院
神経科精神科 助教
外来医長・教育医長

亀谷仁郁氏



医師、医学博士。2014年に公立能登総合病院にて初期研修後、精神科医として公立能登総合病院、金沢大学附属病院、石川県立高松病院で勤務。2020年10月より現職。2023年からは神経科精神科の外来医長・教育医長、2024年4月からは子どものこころの診療科の外来医長も兼務。専門は摂食障害診療と児童・思春期の脳磁図研究。その臨床経験を基に、摂食障害に苦しむ患者のための治療用アプリ「Spoon DTx」の開発を主導している。

パネリスト

(株)慶應イノベーション・
イニシアティブ
シニアアソシエイト

鈴木利洋氏



東京大学大学院工学系研究科修了。早稲田大学大学院経営管理研究科修了。ナノキャリア株式会社に大手製薬企業と核酸医薬品に関する共同開発を行うとともに、基礎研究からCMCまで幅広い業務に携わる。その後、JSR株式会社に転職。新規事業開発担当として、主にmRNA、マイクロバイオーム、合成生物学、ゲノム編集関連のスタートアップ投資や協業を担当。また、自社研究所内におけるスタートアップのインキュベーション施設の企画立案・運用をリード。2023年慶應イノベーション・イニシアティブ(KII)に、医療・健康領域担当のキャピタリストとして参画。

モデレーター

CIC Institute
アシスタント・ディレクター

加々美綾乃氏



博士(理学)。専門は分子生物学・遺伝学。博士号取得後、文部科学省に入省しライフサイエンス分野の研究開発政策や日本医療研究開発機構(AMED)の設立、初等中等教育のICT化などに携わる。2017年にマサチューセッツ工科大学システムデザインマネジメントコース(修士課程)に留学し、プロジェクトマネジメントおよびスタートアップ・エコシステムの研究に取り組む。2019年に帰国し、科学技術・イノベーション政策全般や核融合研究開発の担当を経て、文部科学省を退職。2021年7月よりCICに参画。現在、CIC Instituteアシスタント・ディレクターとして、ライフサイエンス分野のスタートアップ企業支援プログラムやスタートアップの海外展開支援プログラム等を担当。

登壇者情報 | プログラム④ パネルディスカッション 北陸発テックイノベーションの可能性

パネリスト

富山県立大学情報工学部
情報システム工学科 教授

唐山英明氏



1999年 大阪大学大学院理学研究科修士後期課程修了 博士(理学)その後、企業や自治体職員、大学研究員等を経て、2009年 富山県立大学工学部情報システム工学科准教授・東北大学客員准教授を経て、2022年 富山県立大学DX教育研究センター所長に。現在は、同センター所長、富山県立大学情報工学部情報システム工学科教授、学長補佐。専門は、バーチャルリアリティ、人間情報工学。信号処理や機械学習の技術を保有し、脳波や心電図の計測や解析に基づく新たな工学的応用を目指して研究を進めている。近年は集団の生体情報を統合して解析し、集団の状態を高精度に推定する問題や、AIがヒトに与える影響に関心がある。他方で、DX教育研究センターの制度設計や、同センター内における各種研究テーマの支援をしている。

パネリスト

金沢工業大学 工学部
航空宇宙工学科 教授

赤坂剛史氏

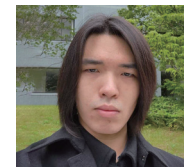


1999年から川田工業(株)で、全備重量800kgの大型産業用無人ヘリの制御ソフトウェアを開発。また陸上自衛隊装備品の小型無人航空機を開発し納入。2011年からの金沢工業大学では、様々なドローンの空気力学・飛行力学・飛行制御を研究。近年はVTOL型ドローンの遷移飛行時における不安定な飛行特性を解明し、数学モデルを構築して飛行制御ソフトウェアを開発。またNEDO/K-Projectの参加や技術審査委員、加賀市次世代エアモビリティコンソーシアムの構成員を務める。現在、エアモビリティ産業共創研究所(仮称)の開設に向け、推進チームと共同で準備を進めている。

パネリスト

北陸先端科学技術
大学院大学 工学部
修士後期課程3年

加藤裕介氏



北陸先端科学技術大学院大学博士前期課程を修了(修士(マテリアルサイエンス))。現在、同大学院博士後期課程に在学中。日本学術振興会特別研究員(DC2)。専門は低温生物学。凍結保存技術の多方面への社会実装を模索している。「豚精液の凍結保存ビジネスモデル」は、OIC Cleantech Challenge 2024で石山純恵賞、「研究者のためのインキュベーションプログラム」でマイナビ×Blueseed賞と慶應イノベーションイニシアティブ賞を受賞するなどの評価を受け、R7年度 TeSH GAPファンドプログラム「ステップ1」に採択される。

パネリスト

HED株式会社(ヘッド)
代表取締役

高田諭氏



2009年株式会社インディペンデンス(現・株式会社 Kips)入社。同社が運営するインディペンデンスクラブ(2015年NPO法人化)の事務局長として、全国各地の行政・大学・支援機関等とのネットワーク構築とスタートアップの発掘支援に従事。同社の投資事業においても、投資担当者として投資実行と経営支援、投資委員として案件評価や投資/売却の意思決定に関与。地域横断的なベンチャーコミュニティ運営とベンチャーキャピタル投資の経験を活かし、地元石川/北陸地域のスタートアップエコシステム形成に向けて、2024年2月HED株式会社設立、代表取締役就任(現任)。1985年10月石川県白山市生まれ。金沢泉丘高校/東京都立大学経済学部 卒業。

モデレーター

CIC Institute ディレクター
一般社団法人スタートアップエコシステム協会
副代表理事
東京科学大学イノベーションデザイン機構
特任教授

名倉勝氏



核融合工学で博士号を取得後、文部科学省に入省。大学発スタートアップ政策を主に担当。米国に留学した後、ベンチャーキャピタル等の勤務を経て、日本最大級のイノベーションセンターであるCIC Tokyoの立ち上げに参画。CICの実施するスタートアップ支援プログラムやエコシステム構築事業の責任者を務める。2022年に一般社団法人スタートアップエコシステム協会を設立。東京科学大学の特任教授も務める。

